

庄野俊哉アナウンサー
中日新聞の読者コラム
「くらしの作文」ついに3,000作品を読破へ！



写真)庄野俊哉アナウンサー

東海テレビアナウンサー・庄野俊哉(しょうのとしや)が、中日新聞に毎日掲載されている読者コラム「くらしの作文」をこれまでコツコツと録音し、東海テレビのホームページでお届けしているのが「新聞を庄野アナと音読してみよう」(<https://www.tokai-tv.com/ondoku/>)。2015年10月に音読を開始して以来、音読したコラムの数が明日13日(土)に通算で3,000作品に達することが分かった。

庄野アナは、日夜ICレコーダーを手に、スタジオサブや自宅などで録音するようになって8年半が過ぎた。土日や祝日、年末年始も欠かすことなく、休刊日を除くほぼ毎日、音声データをホームページにアップしてきた。

これまで紹介したコラムは、いずれも普段の暮らしから見えてくる、味わい深いエピソードばかり。ネットの新聞音読がきっかけで、名古屋市内だけでなく、愛知・岐阜・三重の公共施設でも新聞音読講座が開かれるようになるなど、活動の裾野はどんどん広がっている。

今回、3,000作品を読破するにあたって庄野アナは、以下のようにコメントを寄せた。「8年余りの間、本当に多くの方に支えていただいたことを感謝したいですね。ただ、途中で挫けそうになったこともありました。コロナ禍に見舞われ、声を出すことが制限された時期があり、喉の衰えが心配されました。そんな時、自宅で一人でもできるこのホームページがユーザーに活用されたり、音読のテキスト本も出版されたことは、継続への大きな力になりました」